

【河川】第4回 子吉川圏域「大規模氾濫時の減災対策協議会」 第8回 子吉川圏域 流域治水協議会 を開催しました！

令和6年3月12日
秋田河川国道事務所

1. 概要

- 関係者が幅広く情報共有を図るため、令和5年度の活動報告を行い、令和6年度の取組予定を確認した。
- 気候変動を踏まえた流域治水プロジェクト 2. 0の内容について確認した。

2. 開催日／実施状況

- 日 時: 令和6年3月12日(火) 10:00~10:45
- 場 所: 秋田河川国道事務所 子吉川 荒町防災ステーション 会議室
- 出席者: 由利本荘市(市長)、にかほ市(防災課長)、由利高原鉄道株式会社(運輸部長)
農林水産省東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所(所長)、林野庁東北森林管理局由利森林管理署(署長)、
気象庁秋田地方气象台(台長)、秋田県農林水産部(農地整備課チームリーダー)、秋田県建設部(河川砂防課チームリーダー)、
国土交通省鳥海ダム工事事務所(所長)、国土交通省秋田河川国道事務所(所長)

議事内容

- (1)「大規模災害時の減災対策協議会」R5取組状況・R6取組予定について
- (2)「流域治水協議会」R5取組状況について
- (3)流域治水プロジェクト2. 0について
- (4)自分事化に向けた取り組みについて
- (5)由利本荘市立地適正化計画の策定状況について(情報提供)
- (6)流域治水施策集について(情報提供)



3. 主な意見・コメント等

- ・地球温暖化が進むと降雨量が増え、災害の激甚化が進む。
- ・昨年7月には秋田県内では記録的な大雨を記録した。子吉川でも起こりえる可能性を想定して備えを進める必要がある。
- ・子吉川の流域治水の根幹となる「鳥海ダム建設」と「河道掘削工事」を組み合わせ、ハード整備を進めている。
- ・田んぼダムや、ため池・排水路の活用を検討する。
- ・適切な森林管理と治山対策を継続して行う。
- ・ハード対策には長い時間がかかるため、ソフト対策の重点的な取り組みが必要である。
- ・立地適正化計画やマイタイムラインを、自分事化として認識してもらわなければならないと思う。最終的には自分の命は自分で守ることが重要。
- ・総合学習の時間を活用して、防災教育を継続していきたい。



由利本荘市長



西奥羽土地改良
調査管理事務所長



由利森林管理署長



秋田地方气象台長



鳥海ダム工事
事務所長



秋田河川国道
事務所長